

がん検診精度管理部会の報告

令和3年度第2回墨田区がん対策推進会議
令和4年3月29日



令和3年度「がん検診精度管理部会」

部の概要

委員

所属	役職等	氏名
公益社団法人墨田区医師会	健診・検診委員会理事	清水 秀一
	健診・検診委員会委員	福井 一人
	胃がん検診	高石 潔
	大腸がん検診	黒沢 俊介
	肺がん検診	吉信 尚
	子宮頸がん検診	村田 知昭
乳がん検診	吉井 淳	
墨田区	保健計画課長	杉崎 和洋

開催概要

開催日	検討事項
第1回 令和3年11月16日	精度管理指標の評価及び改善の検討 がん検診実施状況調査の実施 プロセス指標の自己分析等報告書の提出依頼
第2回 令和4年3月（書面開催）	がん検診実施状況調査の結果共有及び実施 プロセス指標の自己分析等報告書の共有及び提出依頼

精度管理指標の評価及び改善の検討

精度管理指標

指標	指標の意味
技術・体制指標	検診実施機関の体制（設備、医師、技師等）の確保がされているか、実施手順等が確立されているか
プロセス指標	上記の技術・体制のもとで行われた検診の結果（検診受診率、要精検率、精検受診率、がん発見等）
アウトカム指標	死亡率

国の「がん対策推進計画」では、「**すべての市区町村で精度管理が行われること**」を目標の1つとして掲げていることから、都では、毎年、**プロセス指標と技術・体制指標について、各自治体の評価を実施し、一定の水準に満たない場合は改善することを求めている。**

技術・体制指標（事業評価のためのチェックリスト）

がん検診の技術・体制指標とは、住民検診に関わる組織（区市町村や医療機関等）が、最低限整備すべき技術・体制のことで、**国が「事業評価のためのチェックリスト」として整理し、区市町村や検診実施医療機関等に遵守するよう求めている。**

都道府県用、市区町村用、検診機関用の3種類に分かれており、検診関係者は各々チェックリストに基づいて現在の体制を自己点検し、課題に応じて改善策を検討することが求められている。また、**東京都では、検診事業体制の整備や精度管理の向上を目的として、実施状況を調査、評価し、ホームページで公表している。**

チェックリスト実施状況評価

<評価事業の目的> 都が設定したチェックリスト実施状況の評価基準に基づき、**必要な改善指導を行うとともに、結果を公表することにより、検診事業体制の整備や精度管理の向上を図ることとしている。**

<評価基準> 6段階評価（A・B・C・D・E・Z）とし、**C評価以下の区市町村には改善通知を発出** 墨田区も個別指導の対象

	全項目数	実施項目数	評価		実施項目数	評価
胃がん検診（エックス線検査）	52項目	41項目	C	令和2年度	34項目	D
胃がん検診（胃内視鏡検査）	50項目	評価対象外（※1）			評価対象外（※1）	
大腸がん検診	52項目	41項目	C		34項目	D
肺がん検診	51項目	41項目	C		評価対象外（※2）	
子宮頸がん検診	55項目	45項目	C		34項目	D
乳がん検診	55項目	43項目	C		36項目	D

未実施項目の分析と改善

チェックリストの項目ごとに、各区の実施率を踏まえ、実施の可否を分析し、改善可能な項目については方向性や改善策を検討。**各医療機関に対するプロセス指標のフィードバックや健康増進事業報告に必要な項目の把握等の未実施項目は今年度から改善されていることを確認。**

チェックリストの分析

設問内容	対象のがん検診	実施状況
対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	胃・大・肺・子・乳	未実施（未定）
受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行いましたか	胃・大・肺・子・乳	未実施（未定）
過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	胃・大・肺・子・乳	未定（実施後5年間は未実施）
仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか	胃・大・肺・子・乳	未実施（未定）
検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか	胃・大・肺・子・乳	未実施（未定）
「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか	胃・大・肺・子・乳	未実施（未定）

設問内容	対象のがん検診	実施状況
精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか	胃・大・肺・子・乳	実施済（R2から）
精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか	胃・大・肺・子・乳	実施済（R2から）
精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか	胃・大・肺・子・乳	実施済（R2から）
精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか	胃・大・肺・子・乳	実施済（R2から）
検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	胃・大・肺・子・乳	実施済（R2から）
検診機関（医療機関）毎のプロセス指標を集計してフィードバックしましたか	胃・大・肺・子・乳	実施済（R2から）
上記の結果を踏まえ課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか	胃・大・肺・子・乳	R3年度実施
早期がん割合の集計	胃・大・肺・乳	肺・乳がんはR3年度実施 胃・大腸がんはR4年度実施見込み
性別・年齢5歳階級別の集計	胃・大・肺・乳	肺・乳がんはR3年度実施 胃・大腸がんはR4年度実施見込み
検診機関別の集計	胃・大・肺・乳	肺・乳がんはR3年度実施 胃・大腸がんはR4年度実施見込み
検診受診歴別の集計	胃・大・肺・乳	肺・乳がんはR3年度実施 胃・大腸がんはR4年度実施見込み
検診方法別の集計（乳がん検診）	乳	R3年度実施
粘膜内がん、非浸潤がんの集計	胃・大・乳	乳がんはR3から実施 胃・大腸がんはR4から実施見込み
上皮内病変（CINなど）数の区分毎の集計	子	R3年度実施
年齢5歳階級別の集計	子	R3年度実施
検診機関別の集計	子	R3年度実施
検診受診歴別の集計	子	R3年度実施
微小浸潤がん割合の集計	子	R3年度実施
年齢5歳階級別の集計	子	R3年度実施
検診機関別の集計	子	R3年度実施
検診受診歴別の集計	子	R3年度実施

現状の体制において実施可能な項目は対応済みであることを確認。令和3年度は各がん検診においてB評価となる見込み。
 今後も都の技術的指針が修正されるたびにチェックリストの項目が随時更新されるため、区としても適宜、対応していく。

「がん検診実施状況調査」の集計報告

事業の概要

区のがん検診マニュアルに沿った検診が実施できているかどうかを把握するため、定期的に各検診実施機関を対象とした検診の実施状況に関する調査を行う。このことにより、検診実施機関に対する意識を高めるとともに、精度管理体制の充実を図る。

調査の主体は「がん検診精度管理部会」とし、調査実施にあたっては、毎年、部会においてテーマを検討し、調査結果を報告することとする。

調査の概要及びテーマ

大腸がん検診の検査方法及びカットオフ値

「検査会社に委託して実施している医療機関」と「検査技師が自院で実施している医療機関」があり、要精検率にバラつきが発生している。そのため、検査体制の統一化を検討するため、各医療機関の検査方法等を調査する。

<日程> 令和4年1月28日～2月4日

<対象> 令和3年度の墨田区大腸がん検診実施医療機関 108か所

<項目> 便潜血検査の判定方法、検査機関名、検査キット名、カットオフ値 等

検査医（読影医）要件の現状

検査医登録制度の導入のため、がん検診実施マニュアルに示している検査医等の要件を満たしているかを把握する必要がある。そのため、胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診において、実施体制の現状を調査する。

胃がん検診 <期間> 令和3年12月17日～令和4年1月14日

<対象> 胃がん検診（胃部エックス線検査）実施医療機関 25か所

<項目> 撮影技師の人数及び学会認定専門技師の人数、判定医の人数及び認定医の人数

肺がん検診 <期間> 令和3年12月17日～令和4年1月14日

<対象> 肺がん検診（胃部エックス線検査）実施医療機関 14か所

<項目> 症例検討会及び読影講習会の参加状況、第二読影医の要件を満たす人数

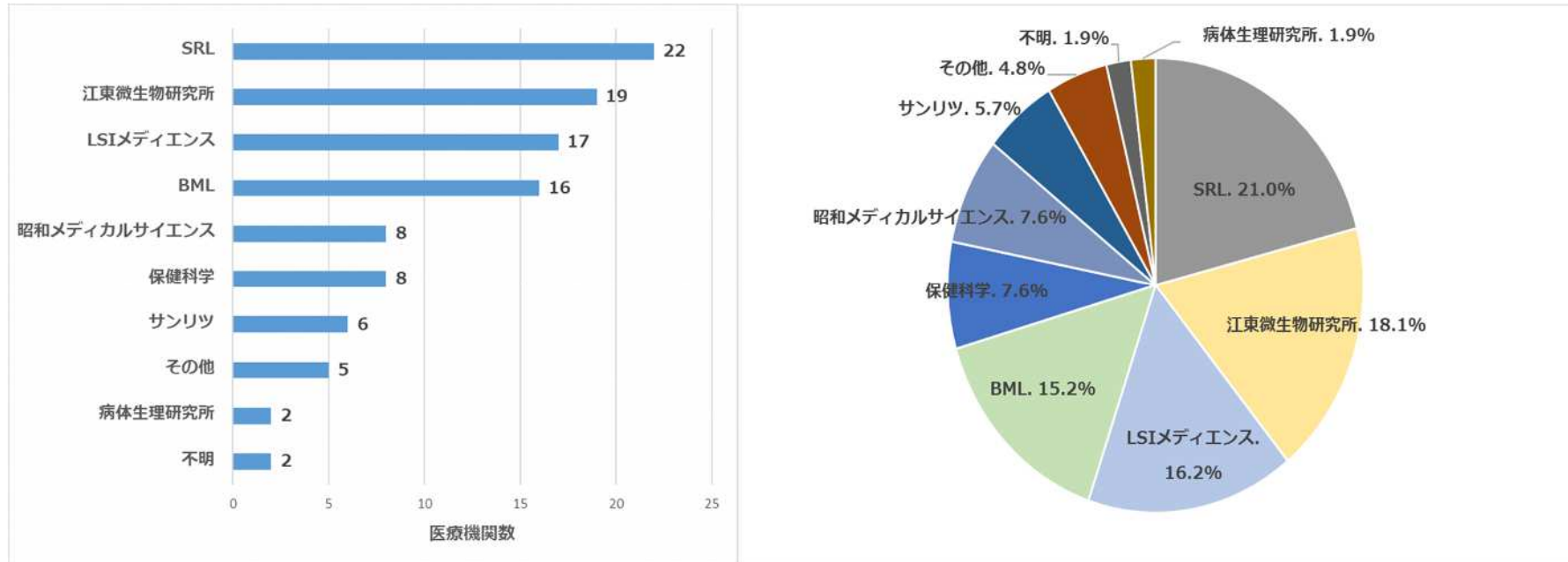
乳がん検診 <期間> 令和3年12月17日～令和4年1月14日

<対象> 乳がん検診実施医療機関 9か所

<項目> 撮影技師の人数及びそのうち要件を満たす人数、読影医の人数及びそのうち要件を満たす人数

大 腸がん検診の検査方法に関する調査（質問項目別）

1 便潜血検査の判定は自院内か検査機関への依頼か。また、どこの検査機関に依頼しているか。



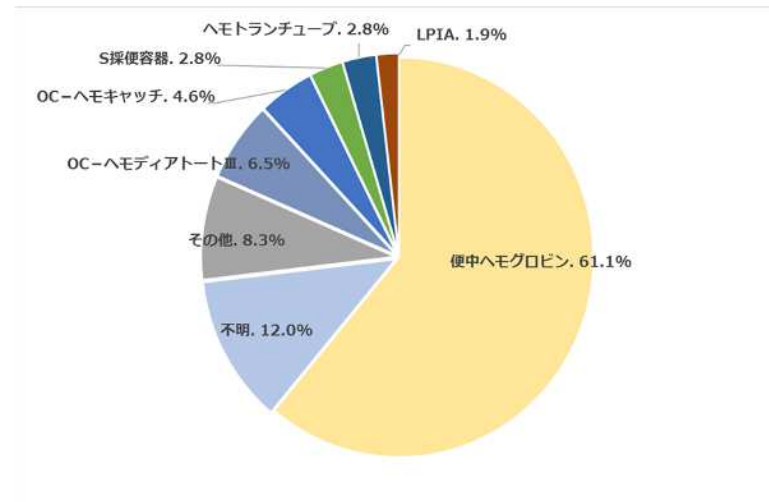
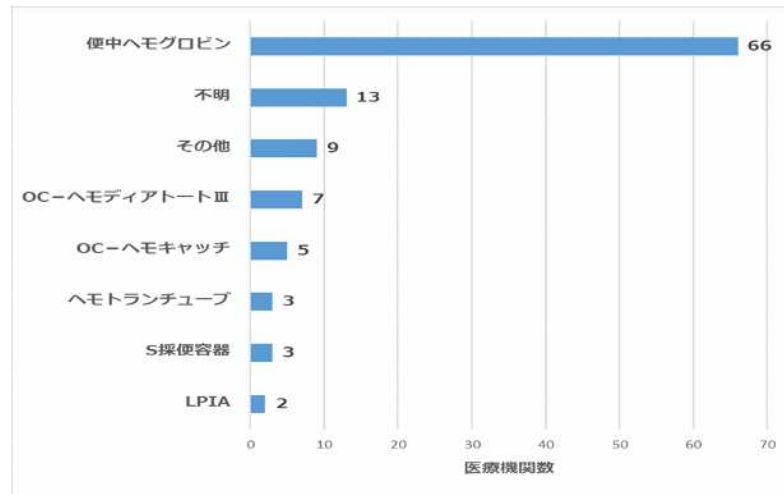
< 検査判定場所 >

大腸がん検診を実施している108医療機関のうち、自院で検査を行っているとは回答した医療機関は5か所（いずれも病院）で、検査技師が検査を行っているとの回答。ほとんどが検査会社に依頼していることが分かった。

< 検査会社 >

検査会社に依頼している103医療機関に対し、検査会社名を確認したところ、検査会社の偏りはなく、医療機関によって取引のある検査会社はばらばらとなっている。

2 便潜血検査キットの種類を教えてください



検査キットの種類を調査したが、ほとんどの医療機関が検査会社に依頼しているため、正確な回答が得られていない可能性が高い。そのため、検査会社等への内容の再確認が必要となる。

3 便潜血検査方法は定性法か定量法か。また、定量法の場合のカットオフ値

便潜血検査の方法は、定性法が約7割を占め、定量法が約3割との回答を得た。

定量法と回答した30医療機関のに対し、カットオフ値を聞いたところ、不明と回答した医療機関が10か所あった。カットオフ値を把握している20医療機関のうち、「100」との回答が13医療機関、「150」との回答が4医療機関あり、約9割がカットオフ値を100～150に設定していることが分かった。

4 受診者に対する検便キットの配布方法

検査キットの配布方法を参考に調査したところ、ほとんどがマニュアルに従い、手渡しとしていたが、郵送との回答が1医療機関あった。また、原則手渡しだが、場合によっては郵送対応としているとの回答が7医療機関あった。



がん検診（胃部エックス線検査）の撮影技師及び判定医の調査（質問項目別）

1 胃部エックス線検査の撮影は技師が行っていますか。

胃部エックス線検査を実施している医療機関（25か所）のうち、6割にあたる15の医療機関が撮影を技師が担当しているとの回答。

2 区の胃がん検診（胃部エックス線検査）に従事している撮影技師の人数

2 - 2 うち、日本消化器がん検診学会が認定する専門技師の人数

技師が撮影を担当していると回答した15の医療機関のうち、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を持っている技師が撮影しているとの回答は5医療機関であった。

1 区の胃がん検診（胃部エックス線検査）の総合判定は、自院か二重読影会に依頼しているか

胃部エックス線検査を実施している医療機関（25か所）のうち、4割にあたる10の医療機関が自院の医師が総合判定を行っているとの回答。

2 区の胃がん検診（胃部エックス線検査）に従事している判定医の人数

2 - 2 うち、日本消化器がん検診学会認定医または総合認定医の人数

自院で総合判定を行っているとは回答した10の医療機関のうち、指針で定められている認定医の資格を持っている医師が判定を行っているとは回答した医療機関は1つのみであった。

肺 がん検診の読影医の調査（集計表及び質問項目別）

区の肺がん検診に従事する読影医において、年に1回以上、症例検討会や読影講習会に参加しているか。

肺がん検診を実施している医療機関（16か所）に対し、検診に従事している読影医の検討会や講習会への参加状況を聞いたところ、約7割にあたる11医療機関が「参加している」、もしくは「今後年1回の参加を予定している」との回答であった。

肺がん検診に従事する医師のうち、第二読影医の要件を満たす人数を教えてください。

肺がん検診を実施している医療機関（16か所）のうち、9割弱の14医療機関が「読影医は指針の要件を満たしている」との回答であった。

乳 がん検診の技師および読影医の調査（集計表及び質問項目別）

区の乳がん検診に従事している技師の人数を教えてください。

うち、適切な講習会の修了者で評価試験の結果がA又はBの技師の人数

乳がん検診を実施している9医療機関に対し、検診に従事している撮影技師について、指針の要件として望ましいとされている要件を満たしているか調査したところ、ほとんどの医療機関が要件を満たしているとの回答であった。

区の乳がん検診に従事している読影医の人数を教えてください。

うち、適切な講習会の修了者で評価試験の結果がA又はBの医師の人数

乳がん検診を実施している9医療機関に対し、検診に従事している読影医について、指針の要件として望ましいとされている要件を満たしているか調査したところ、ほとんどの医療機関が要件を満たしているとの回答であった。

「がん検診実施状況調査」の実施

事業の概要

区のがん検診マニュアルに沿った検診が実施できているかどうかを把握するため、定期的に各検診実施機関を対象とした検診の実施状況に関する調査を行う。このことにより、検診実施機関に対する意識を高めるとともに、精度管理体制の充実を図る。

調査の主体は「がん検診精度管理部会」とし、調査実施にあたっては、毎年、部会においてテーマを検討し、調査結果を報告することとする。

調査の概要及びテーマ

がん検診精密検査結果報告書兼依頼書の活用状況について

令和2年度から、東京都の統一様式を活用し、精密検査の結果を把握できる体制を整備している。実施医療機関における様式の活用状況を調査する。

要精検者における精密検査受診状況の調査方法について

要精検者の精検実施状況を把握するため、実施医療機関に対し、追跡調査を行っているが、現在、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診については、個人情報保護の観点から、情報を格納した電子媒体（USB）について、区職員が医療機関の担当者に手渡しのおえ、入力後のタイミングに直接受け取るといった対応をしている。今後、個人が特定できない情報（受診日や生年月日、イニシャル等）をキーとして、郵送や電子メールでやり取りの可否を調査する。

スケジュール

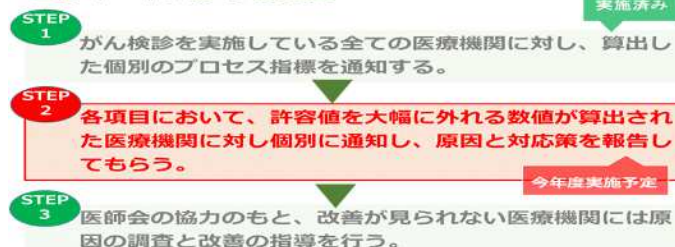
調査項目	項目	R3年度	令和4年度						
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
がん検診精密検査依頼書兼結果報告書の活用状況について	調査票の確定	★	精度管理部会						
	調査の実施		★						
	調査のとりまとめ			→	★				
	調査結果の報告							★	精度管理部会
要精検者における精密検査受診状況の調査方法について	調査票の確定	★	精度管理部会						
	調査の実施		★						
	調査のとりまとめ			→	★				
	調査結果の報告							★	精度管理部会

平成30年度がん検診プロセス指標の自己分析等報告の共有

事業の概要

がん検診における適切な実施体制の達成度を示す「プロセス指標」について、今年度から、実施医療機関ごとの指標を算出し、その結果を各実施医療機関に情報提供（フィードバック）している。令和3年度からは、算出した指標が許容値を大きく外れている医療機関に対し、個別に通知し、**改善を促すとともに原因と対応策を報告してもらう**ことで、さらに質の高いがん検診の実施体制の整備を図る。

■ フィードバックの方法



個別通知する対象医療機関の基準

各がん検診において、一定程度の受診者を受け入れている医療機関に限るなど、調査・指導の対象医療機関を選定する必要がある。

要精検率や精検未把握率が許容値を超えているがん検診が多いため、実施医療機関に対しては、これらを重点項目として改善を求める。

【前提条件】

- 各がん検診において、**100件以上の受診者**を受け入れている。
- 各がん検診において、**10件以上の要精検者**が計上されている。

【個別条件】

- 要精検率が許容値を超え、さらに区全体の数値を大幅に超えている。
- 精検未把握率が許容値を超え、さらに区全体の数値を大幅に超えている。
- その他、精度管理部会で特に個別通知が必要と判断された案件

※「大幅に」の目安は、およそ2倍の数値を想定している。

対象医療機関

基準を超える医療機関を列举。このうち、要精検者数が少ない医療機関を除き、**赤枠内の医療機関のほか、受診者100件未満だが、胃がん検診の要精検率が63.3%の医療機関を加えた7件に個別通知を発送した。**

< 通知発送 > 令和3年12月

< 報告書返送期日 > 令和4年1月中

< 返送数 > **7医療機関のうち6医療機関の報告書返送あり**

検診種別	個別通知の基準要件	
	要精検率 (要精検者/受診者数)	精検未把握率 (未把握者/要精検者) ※受診者数
胃がん	A 28.9% (35人/121人)	
大腸がん		C 58.8% (20人/34人) ※613人
		D 66.7% (8人/12人) ※237人
	B 19.2% (112人/584人)	E 50.0% (5人/10人) ※202人
		F 64.5% (20人/31人) ※524人
		G 45.2% (33人/73人) ※849人
子宮頸がん		H 54.5% (6人/11人) ※580人
乳がん	I 38.4% (63人/164人)	
合計	3件	3件

1 要精検率28.9%の胃がん検診実施医療機関

<要因の分析>

胃および食道の粘膜がんを見逃さないよう心掛けているため、軽微な粘膜異常も要精検としたケースがある。

<今後の取組み>

目標を粘膜がんの発見におきつつも、基準を若干変えることで、要精検率を許容範囲内へもっていく。

2 要精検率63.3%の胃がん検診実施医療機関

<要因の分析>

見逃しの危険性を回避するため、良性とみられる症例（ポリープ、びらん、高度萎縮等）も要精査としている。

<今後の取組み>

当院の基準を引き下げて、目標に近づける。
問題がありそうな場合は、保険診療で施行することとする。

3 要精検率19.2%の大腸がん検診実施医療機関

<要因の分析>

要精検と判定されている受診者において、精検せず経過観察として再度検診を受診することがある。

受診者は有病率の高い集団（大腸ポリープ既往、頑固な便秘症、糖尿病罹患患者）に偏っている。

受診者に痔核既往者がおり、擬陽性が多い。

高齢者の受診率が高い。 要精検者の年齢：65歳未満14%・65歳以上86%

<今後の取組み>

問診より大腸ポリープ既往（経過観察中）、便秘症などの有症状が確認できた場合、診療として対応することを院内で情報共有を図り徹底する。

便潜血要精検者には、必ず診察を受け、精検が必要な旨説明し、同意を求めることを徹底する。

4 精検未把握率58.8%の大腸がん検診実施医療機関

<要因の分析>

当院に大腸カメラがないので紹介状を渡しているが、紹介先から最終報告が届かない。

<今後の取組み>

4月から最終報告までお願いしますと紹介状に記載している。

区からの精検依頼票を活用することにする。

5 精検未把握率64.5%の大腸がん検診実施医療機関

<要因の分析>

精検不要としているケースもあるが、1次検査の結果を説明する医師の認識不足や受診者への説明不足、説得力不足も相当程度あると考えられます。

<今後の取組み>

1次検査の結果を説明する医師の説明内容をより明確にし、しっかり説得することは必要と考えるが、1次検査医療機関に2次検査の結果を把握させて、医師会HPの該当サイトに登録させるシステム自体が不自然。(一部抜粋)2次検査の結果は区が集計する形式が自然だと思う。

6 精検未把握率45.2%の大腸がん検診実施医療機関

<要因の分析>

二次検診のご案内は口頭のみでの説明だったため、精検につながらなかった。

<今後の取組み>

精検の必要性などをわかりやすくパンフレットを作成し、受診者に説明し、二次検診につなげていく。

令和元年度がん検診プロセス指標の自己分析等報告書の提出依頼

医 医療機関別プロセス指標（令和元年度分）

東京都からの調査に基づき、各がん検診における令和元年度分の区内医療機関別プロセス指標を令和3年10月に算出。この指標をもとに例年どおり4月～5月に実施医療機関に対しプロセス指標を情報提供する。また、今後は、このプロセス指標の通知にあわせて、課題のある医療機関への個別通知も発送する。

対 象医療機関の選定

墨田区のプロセス指標を分析すると、受診率のほか、要精検率、精検未把握率が許容値を超えているがん検診が多いため、引き続き、検診実施医療機関に対しては、これらを重点項目として、以下のとおり、改善を求める個別通知を送付する。

【前提条件】

- 各がん検診において、**100件以上の受診者**を受け入れている。
- 各がん検診において、**10件以上の要精検者**が計上されている。

【個別条件】

- 要精検率**が許容値を超え、さらに区全体の数値を大幅に超えている。
- 精検未把握率**が許容値を超え、さらに区全体の数値を大幅に超えている。
- その他、精度管理部会で**特に個別通知が必要と判断された**案件

※「大幅に」の目安は、およそ2倍の数値を想定している。

各がん検診の個別通知基準（令和元年度）

種別	要精検率			精検未把握率		
	許容値	区	基準	許容値	区	基準
胃がん検診 (エックス線検査)	11.0% 以下	10.2%	20.4% 以上	10.0% 以下	16.6%	33.2% 以上
胃がん検診 (内視鏡検査)		2.9%	5.8% 以上		17.3%	34.6% 以上
大腸がん検診	7.0% 以下	9.2%	18.4% 以上	10.0% 以下	19.7%	39.4% 以上
肺がん検診	3.0% 以下	6.9%	13.8% 以上	10.0% 以下	10.5%	21.0% 以上
子宮頸がん検診	1.4% 以下	1.9%	3.8% 以上	10.0% 以下	20.5%	41.0% 以上
乳がん検診	11.0% 以下	10.0%	20.0% 以上	10.0% 以下	4.1%	8.2% 以上

検診種別	個別通知の基準要件	
	要精検率 (要精検者/受診者数)	精検未把握率 (未把握者/要精検者) ※受診者数
胃がん	A 26.6% (33人/124人)	
大腸がん	B 23.6% (149人/632人) →30年度分として報告書提出有のため、今回は通知はしない。	C 53.8% (14人/26人) ※283人 D 44.4% (8人/18人) ※262人 E 61.5% (8人/13人) ※172人 F 44.4% (8人/18人) ※123人
肺がん	H 26.2% (74人/282人) I 14.9% (29人/194人)	G 22.0% (13人/59人) ※510人
子宮頸がん		J 53.3% (8人/15人) ※584人
乳がん	K 41.5% (49人/118人)	L 13.8% (4人/29人) ※172人
合計	4件	7件

基準を超える医療機関を列挙。このうち、**前回、30年度分として報告書の提出があった医療機関Bを除き、11の医療機関について、今回の個別通知発送候補としている。**